

平成24年度 各郡市の研究活動報告(胎内市)

会 長 桐生 和文
副会長 速水 紳
評議員 桐生 和文

1 研究活動の方針

胎内市教育研究会（会員は市内小中学校全教職員）を組織母体とし、胎内市教育の振興と充実・発展を図る目的で研究活動を行う。

- (1) 胎内市の教育課題に向けた調査・研究を実施し、学力の向上等を目指して研究体制や運営を工夫して効果的な研究推進に努める。
- (2) 会員相互が緊密な連携・協力のもとに、研究実践を通して教育活動の推進に努めるとともに、会員の専門性や指導力向上を図る。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

- ① 各教科・総合的な学習の時間・外国語活動等の10部会の他、養護教員部会等5部会、計15部会を組織し、研究活動を行う。
- ② 学力向上、特別支援教育等の4推進委員会を設け、市の教育課題解決に取り組む。

(2) 各組織の活動について

- ① 部会の活動は年間3回とし、指導力向上のため研修計画に基づき、授業研究、調査・体験活動、教材作成等を行う。
- ② 推進委員会では、市の教育課題解決を目指し、NRT学力検査の分析、指導方法の改善、体育実技研修会、特別支援教育研修会等を行い、授業実践の改善を図る。
- ③ 8月7日（火）に胎内市産業文化会館を会場にし、村上市消防本部：小田幸男様（第39次・第44次南極越冬隊員）を講師に「南極越冬のくらしと自然」という演題で、会員及び市民を対象に講演会を実施した。

(3) 研究発行物について

2月に、各部の活動報告等をまとめた「研究集録」第2号を発刊する。

3 郡市小教研が関係した研究会

今年度、該当なし